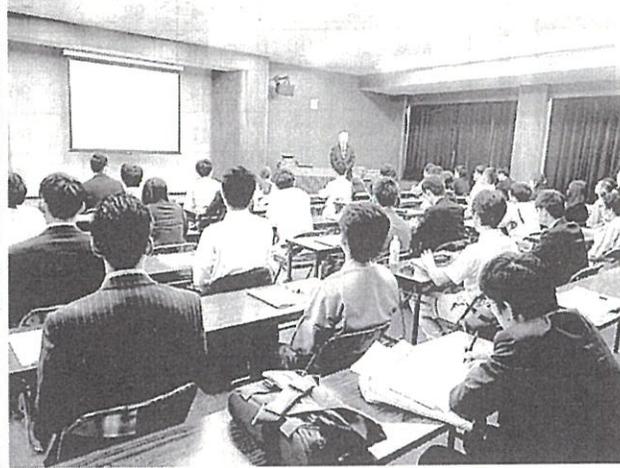


選ばれる建設会社めざし

京都府建設業協会 新人・若手社員が研修



フォローアップ研修の様子

一般社団法人京都府建設業協会(小崎学会長)は10月31日、令和元年度新人・若手社員フォローアップ研修を京都市中京区の京都建設会館で開催。受講者は、選ばれた建設会社を自指し、チームコミュニケーションの重要性などを学んだ。

今回の社員研修は、会員企業の入社3年目までの若手社員を対象で、53人が参加した。

冒頭挨拶で絹川雅則京都



絹川労働経営委員長



田辺氏(京都サンダー)

府建設業協会労働経営委員会委員長は「午前中は座学、午後はグループワークで学ぶ。色んな仕掛けを考えていただいている」「建設人としての人生に役立つに違いないという思いで学んでほしい」と述べ、「今日1日有意義な時間にしてほしい」と受講者を激励した。

講師の京都サンダー(株)の田辺直子氏は「4月の新人研修でお会いした時と比べ、社会人の雰囲気になられた」「今日の研修では一緒に考えるという立場で学んでいきたい」「4月の研修

でのブロックワークは橋を架けるというテーマで行ったが、今回は、選ばれる建設会社は何が違うのかというところを一緒に考えていきたい」と研修のテーマを示した。

ビジネスメールや社外文書の作成時の注意点などビジネススマナールの基礎を復習し、年代の違う人とのコミュニケーションや話題選びなどを学んだ後、入社から今までの経験を整理して棚卸しするため、ヒアリングシートに書き込んだ。

チームコミュニケーションの重要性を学ぶ観点から、1チーム4人〜5人の計11班に分かれ、ブロックを使用しタワーを作る課題制作に取り組みブロックワークを実施。課題制作後、受講者全員によるコンペを行い、1位を決め、他者の取組から選ばれるポイントを学んだ。

市内中小企業の受注

第2四半期は件数で86・81%

京都市

京都市はこのほど、競争入札をした工事等の契約における市内中小企業の受注状況を公表した。

工事契約に係る市内中小企業の受注状況によると、令和元年度第2四半期(令和元年7月〜9月)は、件数576件のうち、市内中小企業が500件となり、契約件数比率は86・81%。これを金額で見ると、全体155億0400万円のうち、市内中小企業が111億1800万円となり、契約金額比率は71・71%となっている。

(単位：件、百万円)

期間	件数			金額		
	全体 (A)	市内中小企業 (B)	契約件数比率 (B/A)	全体 (C)	市内中小企業 (D)	契約金額比率 (D/C)

件数874件のうち、市内中小企業が772件となり、契約件数比率は88・33%。これを金額で見ると、21億0700万円のうち、市内中小企業が192億100万円となり、契約金額比率は79・98%となっている(表参照(▽表の

入札速報は「KJCねっと」で(1週間無料体験実施中)

高所作業車
レンタル
スカイワーク京都
☎(075) 623-0050

寄せられ
専門家から
修正案を
「当該土地
域の土地
適正な埋
れている
ら、不適
が是正さ
な配慮そ
置を講じ
められる
土地所有者
砂の流出
災害の発
ために必
他措置を
告を行う
とし、当
ら、勧告対象
埋立て等
等を発生
は運搬した
を示した。
同様の条
県にある
相次ぎ出

第5次総合計画の6期実施目標 20年度に東西自由通路概略設計

精華町

精華町は、第5次総合
計画における第6期実
施計画のなかで、202
0年度で狛田駅周辺の
東西自由通路概略設計
やJR祝園駅のバリア

フリー化工事着手など
年次目標として明記し
ている。
浸水対策では、20年度
で新川排水対策と東畑
地区排水路整備を予定
し、21年度も引き続き新
川対策を進める。

狛田駅周辺整備は、20
年度に駅前広場や東西
自由通路の概略設計を
行い、21年度以降で用地
取得や駅前広場整備、東
西自由通路の詳細設計
を計画している。

第6期実施計画の主
な内容は次の通り(▽事
業概要)①20年度②21
年度以降。

【市街地形成】

- ▽狛田駅周辺整備の促
進①駅前広場、東西
自由通路概略設計②
用地取得、移転補償、
駅前広場整備、東西自
由通路詳細設計
- ▽東畑砂利採取跡地検
討①基本設計、地区

界測量等②事業計画
策定、組合設立準備
【公共交通】

▽高齢者、障害者等移動
円滑化施設整備①
JR祝園駅バリアフ
リー化工事着手②山
田川駅バリアフリー
化工事着手

【健康づくり】

▽健康総合拠点施設の
整備①基本設計②
実施設計、建設

【子育て環境】

▽子育て支援センター
の施設整備(総合拠点
施設)①基本設計②
実施設計、建設

▽地区集会所整備①
北福八間集会所建築・
解体工事②集会所改
築工事

【浸水対策】

▽浸水対策①新川排
水対策整備、東畑地区
排水路整備②新川排
水対策整備

【教育環境】

▽学校教育環境整備①
①給食センター実施
設計等②給食セン
ター建設工事等

▽学校施設長寿命化①
①教育環境改善工事
②小中学校8校の長
寿命化計画に基づく
実施設計、工事

新入社員フォローアップ研修 会員企業から53人が参加 グループで課題に取り組む

府建設業協会

(一社)京都府建設業
協会(小崎学会長)が
主催する2019年度
新入・若手社員フォロ
アップ研修が先月31日、
中京区の京都建設会館
で開かれた。会員企業の
新入・若手社員53人が参
加した。

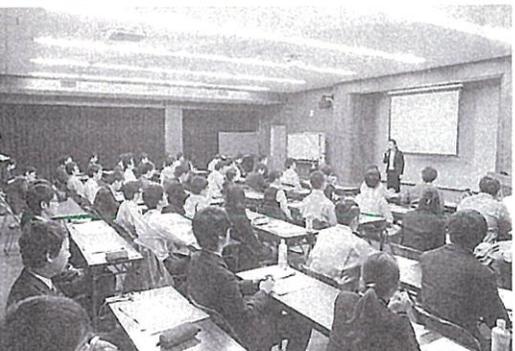
新入・若手社員の研修
について建設業協会



講師の田辺氏



絹川委員長



31日に開かれたフォローアップ研修
に、プロッ
クワークで
はタワー作
成に取り組
み、グルー
プディス
カッション
ではコミュニ
ケーションを
テーマに意
見交換した。

は、4月に2日間に渡る
合宿形式の研修会を開
き、業界の基礎知識や仕
事に取り組む姿勢など
の講習を行っており、今
回はそのフォローアップ
開催にあたって府建
協労務経営委員会の絹
川雅則委員長は「こうし
て、同期や世代の近い同
業の人たちと過ごすこ
とが、長い建設人生の中
できっと役に立つと考
えている」「1日を有意
義な時間になるように過
ごしてほしい」とした。
講師は、京都サウン
ドのキャリアアカウンセ
ラー、田辺直子氏が務め
た。「建設企業は入札や
コンペなどで1社が選
ばれる業種であり、改め
て選ばれるために何を
すべきか、プロックワー
クを通じて考えていた
だいたい」とした。
研修では、5人程度の
10班のグループに分け
参加者が意見を交わす
中で課題を考えた。ピ
ジネスマナー復習とし
て、公文書とビジネス
文書、社外文書の作成
の違いを学
ぶことも
あり、プロ
ックワー
クワーク
ではタワー
作成に取
組むグル
ープディス
カッション
ではコミュニ
ケーション
をテーマに
意見交換
した。